



あけましておめでとうございます

前川 良太

光陰矢の如し。やっと 2023 年という響きに馴染んできたと思ったのに、もう 2024 年だと言われるとなんだか近未来的な感覚です。

皆さんはどのように年末年始を過ごされましたか？私の年末は学生の頃から毎年、昼間からお寿司を食べてビールを飲む日と決まっていて、かれこれ 15 年近く同じメンバーで天王寺のさびれた街の寿司屋へ行きます。それぞれ家庭をもって仕事もバラバラですが、何度したかわからないような昔ばなしで盛り上がります。年始の我が家は毎年祖母の自宅で親子 4 世代 5 家庭が集まります。父が双子なのでよその家族よりも血縁が濃く、トランプみたいに同じ顔がいくつもそろいます(笑)そして食卓にはもうすぐ 80 歳になる祖母の手作りのおせちが並びます。中身は何十年もリニューアルされていません。祖母がチャレンジしたと、ラインナップにローストビーフが含まれるようになったのだから多分 20 年くらい前です。父、双子の叔父、母と叔母、みな教員です(昨年還暦で定年し一線は退きました)。従弟は DJ から転身して放課後デイで働き始めました。お酒を飲みながら話すのはいつも教育のこと、子どものこと、地域のことです。これもまた、何十年もリニューアルされていません。コロナ禍と呼ばれる時代を経て、そんな何十年も当たり前にあった人と人との営みがいかに大切で尊いものかということを経験しました。人と共に過ごしてこそ生きている実感が沸く。群れの中で過ごすからこそ共に育ちあう。そんな大切な“生きる”ということに、改めて今年も丁寧な自分でありたいと、すがすがしい気持ちで新年を迎えました。

去年は保護者の人とも一緒に行事を創ったり、日々を共にしたなど実感します。これもコロナの影響か、久しぶりの保護者も多かったのになかなかスムーズにはいきませんでしたね。だけど困難と一緒に乗り越える時にこそ関係は深まります。今年もみんなでたくさんの方にチャレンジしたいなと思います。



チャレンジと言えば、12 月の責任者会議(クラス責任者、部署責任者で集まって月 1 回会議をしています)で、つばさっ子をもっと充実させようということをお話しました。「つばさっ子が面白くない」という声からこれまでも個々に工夫はしてきています。だけど様子を載せるに終始していないか？そもそもつばさっ子をなぜ書くのか？充実させたいけど毎月なかなか大変…そんな話をしました。日々の日報、その日の全体の様子を知らせる大日報、そしてつばさっ子、それぞれ書く目的は違うはず。だけど一人ずつ名前が載ることに意識すぎて、結局何を伝えたいのかわからない内容になってない？そもそも必ず名前を載せないといけないと決めているわけではありません。その日その一か月、クラスでどんなことが起きたのか、保育士はどんな風に子どもたちを見つめているのか、保護者にどんなことを投げかけたいのか、そのことを出発点と一緒に子どもたちのことを考え合うツールがつばさっ子です。ぜひ書いて終わり読んで終わりのつばさっ子ではないようなものになりたいなと思っています。どんな時も一方通行ではないやり取りを願っている私たちです。つばさっ子もそんな紙面にしていきたいなと思っています。

今年度も残り 3 か月です。ぞう組さんにとって残り少ない保育園生活ですね。小学校へ向けての準備も大事かもしれないかもしれません。ですがもっと大事なことは今しかできない体験をたっぷり味わうことです。今日は今日を過ごすためにあります。笑ったり怒ったり泣いたり、めいっいっぱい今日を過ごして満たされた心が新しいスタートを切る力になります。みんなで送り出すその日まで、とことん今日を共にしましょう。

どうぞ本年もよろしくお祈りします。

